

## 言葉Ⅱ刃物

高一

「居ても意味がないんだから、居なくなればいいのに。」

「ゆうれい。」

これらは、刃となり、私の胸に刺さり、大きな傷跡を残した。いや、今も残している言葉です。

私には、小学生の頃、尊敬できる同級生の女の子がいました。彼女はスポーツが得意で、人前にも率先して立つことができ、私が苦手なこと、できるようになりたいと思っただけが、ほとんどできる子でした。行動力と発言力もあり、周りの友達を引き込むことのできる子でした。冒頭の言葉は、この同級生から言われた言葉です。このときから現在に至るまで、人と接しようとするとき、この言葉が頭から離れません。彼女は、私がこれ程までに気にかけるとは思いません。ただ思ったことを、つい口にしただけかもしれませんが、軽々しく口に出してしまった言葉が、時として人の心を傷つけ、その後の人生にも影響を与えてし

まうこともあるのです。

私は、「聞いた」ことで、とてつもない痛みを感じました。心をナイフで裂かれたようでした。悲しみに苦しくてたまりませんでした。なぜ、あのような言葉を簡単に言えるのか、なぜ人につけることができるのか、不思議に思いました。どうして周りに居るクラスメイトは、誰一人注意することができないのか、不思議でなりません。同調していたクラスメイトの内、一人でも注意してくれていたならば、少しは私の痛みと悲しみは和らいでいたかもしれません。「言葉Ⅱ刃物」、それを私の過去の経験で、思い知ることができました。今でもあの時の事は、思い出したくもない辛い思い出です。

今、私は高校生となり、顔や名前も知らない人たちがクラスメイトとなり、毎日を過ごしています。以前から「いじめ」が問題になっていて、毎年、四月は自殺者が増加し、その原因にいじめがある聞いたことがあります。とても心配でした。しかし、幸いなことに私のクラスではいじめはなく、逆に、たくさんの思いやりあふれる声かけができる人たちがばかりで、大変嬉しく思うのと同時に、

安心して生活が送れています。

「いじめ」とは、学校に限らず、いろいろなところで起こるものだと思います。そして、私のように、直接の言葉によるものもあれば、その他様々な「いじめ」と言われるものもあると思います。共通して考えられるのは、それがどこで起ころうと、どんなことであろうと、小さな積み重ねが、人を死に追いつめてしまうことがあるということです。「いじめ」で苦しみ、悲しい思いをする人が一人でも少なくなるためには、こういったことを皆が理解しなくてはいけないのだと思います。そして、人への「思いやり」や「感謝」の気持ちを強く持つことも大事なのだと思います。そして、お互いが「笑顔」でいられるような、そんな温かい言葉を皆がつかっていかれたらいいと思います。

私は、相手の気持ちを考えずに、心無い言葉をつかう人がいたら、注意できる人になりたいです。そして、自分自身「思いやり」を忘れずに、温かい言葉をつかっていきたいです。これから先の未来が、皆平等で、「いじめ」の無い思いやりあふれる世の中になれることを願っています。